



新成人のみなさん 若者の声が届く新しい政治を

新成人のみなさん、おめでとうございます。野洲市では521人の方が成人(20歳)を迎えました。心からのエールを送ります。

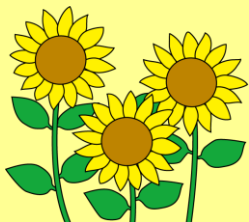
みなさんはコロナ禍の3年、学業や仕事で大変だったですね。日本社会の冷たく、もろい姿が浮き彫りになったのではないのでしょうか。コロナ危機の教訓を踏まえ、未来に希望のもてる新しい社会を築きましょう。



実質賃金は年額で40万円以上も低下しました。非正規雇用の比率は3割から4割にも増えています。家計のゆとりは失われ、学生への仕送り額は月3万円も減り、「過去最低」を更新し続けています。こんなに大変なのに若者への「自己責任」が押し付けられています。

平和破壊 軍事費43兆円

岸田政権は敵基地攻撃能力を保有し、5年間で43兆円の大軍拡を進めています。戦後の国のあり方を根底から覆すものです。財源は、「国民に広く負担してもらう」と。消費税増税、社会保障費の削減は必至です。こんな道を許すわけにはいきません。



コロナ前は、アルバイトをする学生は20年前の2倍で、全学生の7割を超えていました。しかし、コロナ禍でバイト収入が途絶え、食事もままなら

ない学生が続出しました。大学を退学せざる得ない学生まで出ています。

憲法9条 未来に手渡そう

もう2度と戦争はしないと誓い、憲法が作られました。9条があるから、外国は日本は武力は使わない、攻め込まないと信じてくれているのです。しかし、このまま進めば、日本への信頼はなくなるでしょう。



自己責任論 新自由主義 転換を

若者が安心して学ぶ機会が奪われている社会に未来はありません。教育や福祉への公的責任を放棄し、「自己責任」を強いる新自由主義を転換してこそ、将来への希望が見えてきます。若者・国民にやさしく、まともに発展していける社会をめざし、力をあわせましょう。

自民や維新は9条を変えようとしています。9条は、先の大戦で犠牲になられた人々の「もう2度と戦争はしないで」と残された遺言です。戦争する国づくりではなく9条を守り、平和な日本を未来に手渡すため一緒にがんばりましょう。